

—わが国唯一の橋の専門新聞—

橋梁新聞

SINCE1973

聞

平成30年5月1日 (火曜日)

(6)

橋に生顔

エムケービルド(株)

取締役 関東事業所 所長

北野 悟さん



多くの人に感謝

大手塗料メーカーの技術者だった実父が2004年に創業。当時は、異業種の営業マンとして脂がのつてきた時期だったから、道路・橋梁の補修材を開発・販売する同社に直接、関わる事はなかった。

2012年12月に正式に入社。商品の売り込みに歩く傍ら、補修現場を訪れ、また様々な道路関係の文献を読み漁る。東日

本大震災の被災状況の写真から、高速道路の舗装が、打ち継ぎ目から崩れている事に気づく。「それを真付ける調査報告も読み、高耐久の止水テープの開発にチャレンジしたいと思いました」。多くの舗装会社を回り、共同開発を提案、ようやく引き受けてくれた1社と共に「クイックシール」の商品化に漕ぎ着けた。室内試験を経て、13年6月、NEXC O東日本所管の長野自動車道で試験施工が決定した。「服装からハザードランプをつけるタイミング、駐車方法など、現場のルールを舗装会社の人に指導されました」と当時を振り返る。「置費は概ね好評、恩返しです」と語る。大阪市出たた施工性を重視する現場監督身。43歳。(川村淳一)

の意見を聞き、新たに施工機械の開発に携わりました」。NEXC Oが仕様化し、5年余りで150+超の実績を得る。

現在、アスファルト系高性能防水の商品化に注力。MMジョイントなどと併せ、橋梁・道路の長寿命化に貢献する技術だ。「ようやくヘルメットと作業服が板についてきたと思っます」と笑う裏には、畑違いの分野に飛び込んで来た自分を、容赦なく、また温かく指導してくれた人達への感謝がある。

「多くの人に支えられているからこそ、顧客が満足し感謝して頂ける仕事をしたい。それが